

## 抄読会

### SAS ユーザー会 2017 & ICPE2017 参加報告

東北大学 医学統計学分野 邱 士韡

#### 概要

SAS ユーザー会 2017 で、2つの新しいプロシージャを紹介された。SAS9.4 SAS/STAT 14.2 は「CAUSALTRT」と「PSMATCH」2つ propensity score に関するプロシージャを追加した。従来では、propensity score の計算から交絡因子におけるバランスの比較まで、すべて自分でプログラムを書かなければならなかった。現在一つのプロシージャで実現可能となり、大変便利だと感じた。ただし、手順の簡略化とともに、統計手法に対する理解がもっと重要になっている。

ICPE2017 は今年 33 回目の学術総会となり、初めてのアジア人会長（東京大学 久保田先生）がいった。将来的には、アジア地域活動の活発化を期待できる。今回の ICPE では、データベースと HER の応用、実務化臨床試験、患者中心治療を中止にセッションがあった。より現実的な医療状況に近づけるが、疾病の特定、治療目標集団の選定などの問題点が残っている。結果の信頼性と解釈が厳密に検討すべきである。

#### 参考文献

- 1) SAS/STAT User's Guide, The CAUSALTRT Procedure.  
[http://documentation.sas.com/?docsetId=statug&docsetTarget=statug\\_causaltrt\\_toc.htm&docsetVersion=14.2&locale=en](http://documentation.sas.com/?docsetId=statug&docsetTarget=statug_causaltrt_toc.htm&docsetVersion=14.2&locale=en)
- 2) SAS/STAT User's Guide, The PSMATCH Procedure  
[http://documentation.sas.com/?docsetId=statug&docsetTarget=statug\\_psmatch\\_to\\_c.htm&docsetVersion=14.2&locale=en](http://documentation.sas.com/?docsetId=statug&docsetTarget=statug_psmatch_to_c.htm&docsetVersion=14.2&locale=en)
- 3) International Society for Pharmacoepidemiology (ISPE)  
<https://www.pharmacoepi.org/>